

公立幼稚園・こども園新規採用教員 51名の 新規採用教員研修を附属幼稚園で実施しました!

令和元年6月26日(火)



香川大学教育学部 附属幼稚園

保育公開

【新規採用教員の感想より】



- 附属幼稚園には、何をして遊ぶか、誰と遊ぶか、どのように遊ぶか、何をどこまで使って遊ぶか、自分で選べる選択肢がたくさんあり、自分でいろいろ試すことができる空気感がいいなあと思った。
- 附属幼稚園の先生方の子供たちへのまなざしがとても温かく「そうなんだ」「すてき」と、寄り添い、認める姿が素敵だった。
- 子供たちのやりたい気持ちを実現できる保育者になりたいと思った。

講話「幼児と共にある保育者」

1 幼児って・・・

- 好奇心いっぱい
- 全身で活動する
- 全身で遊ぶ
- 活動意欲にあふれている
- 成長する力を持っている
- 周囲の環境に能動的に働きかけようとする力がある
- 自分でやりたい気持ちと信頼できる大人に依存したい気持ちを持っている

「子どもが好き」「子どもと関わる仕事したい」と思っている保育者になっただけだ・・・

2 日常茶飯事に起きる衝突 泣かれると不安になる

クラスで過ごす時間を楽しめない

どうかかわりたいのだろう・・・

3 四月下旬、泣き始めた3歳児Aちゃん

どうしたらAちゃんの涙が止まるのだろうか・・・

附属幼稚園1年目の白川教諭 模索し続けた日々でした。

4 * (学級担任になって) 子どもたちと過ごす日々の中で

難しいなあ・・・

分からないなあ・・・

不安だなあ・・・

と思うことがあるでしょう。

5

- 子どもを集めようとしても、自分の学級の子どもたちは、なかなか集まってこない。
- 一生懸命話しても、聞いてくれない。
- 一生懸命子どもを見ているが、子どもの理解が十分できない。
- 集団の中で、一人一人を見ることが大変。
- 記録の取り方や指導計画作成が分からない。
- ねらいや活動に沿って環境構成がうまくできない。

悩み・・・

6

- 学級で起こることに、一人で解決しななければならない。
- 一生懸命に頑張っているけれど、うまくいかない。他の職員に迷惑をかけているのではないかなと思ってしまう。
- 「時間内に仕事ができない」「子どもへの適切な言葉かけが分からない」「次にすることの見通しがもてない」「行事が分からない」など、保育者として自信がもてない。

不安・・・

7

- 先輩の保育やかかわりを見て、自分もやってみるが、うまくできない。理想と現実の間での**葛藤**
- 大学での講義や講師経験で身に付けたことが、新しい環境の中でうまく生かせない。「こんなはずではなかった」と**葛藤**する。

8 * ベテランの保育者だって保育について心を揺らしています

何年経験しても、悩みはつきません。でも、職員室等で先生方に相談すると、自然に子どもの気持や私の気持がわかるヒントが見えてきて落ち着きます。明日も頑張ろうっていう気持ちになるんです!

悩みを相談できる同僚や先輩はいますか? また、素直に素直にできる自分ですか?

9

* 毎日泣き続けるAちゃんへの模索を模索し続けた日々・・・

懸命に考えているのに分からない自分。うまくできない自分が、泣きたいほど辛かったです。

10 Aちゃんをじっくり見て、深く深く考えたからこそ、気付くことができました。

大切なのは、子どもが楽しむ遊びを私も楽しむこと!

【学びの場】

幼児教育 小学校以降の教育

遊び = 授業

保育者が本気で遊ぶことが、子どもたちに深い学びをもたらします!

12 まずは、幼児と共に遊びましょう。

でも、どのように遊ばよいか分からない・・・。経験不足は当たり前。いつでも相談にのります。「若年保育者と共に在る附属幼稚園」

本気で遊んでみよう「とっておきのケーキ作り」



ピンクのお花を飾ってみよう



どのケーキも素敵よね

【新規採用教員の声】

- 講話の中で本気で遊んでみると本当に楽しかった。子供たちの楽しい気持ちがよく分かった。毎日の遊びを大切にしたい。
- 友達と一緒に作ること、友達のアイデアを取り入れること、自分なりにこだわって作ること等、遊びの中に大切な経験がたくさんあることが分かった。子供達の遊びを大切にしたい。